

陸マイラーになろう

原稿を、標準的なレポートとしてまとめてみましょう。文書スタイルを整える基本的な機能を使いながら、それでいてまずまず見栄えのするレポートに仕上げてみます。

1. 準備

①完成図を、イメージします（右図が完成イメージ）。



②内容にマッチした写真を、ネット上から集めましょ
う。

作品例では、「写真AC」から以下の4枚を使用します。



その他、作品例で使用している JAL、ANA、航空アライアンス、クレジットカードの画像は、ネット上から集めました。



2. ページ設定と本文入力

- ①ワードで、新規文書を開きます。
- ②「ページレイアウト」タブ→「余白」→「やや狭い」。
- ③「挿入」タブ→「フッター▼」→「フッターの編集」で、フッターを挿入しておきましょう。ラインとコピーライトを入れておきます。作品例では、テーマカラーは空をイメージして青色にしました。
- ④タイトル用のスペースとして、改行を 10 行ほど入れておきます。
- ⑤本文（「マイルって、なに？」以下）を、入力します。入力が大変だったら、「原稿.txt」をコピー&ペーストしてください。



3. 本文のスタイル設定

①本文中の見出し（「マイルって、なに？」など）を、「見出し1」スタイルに設定します。見出し行を選択→「ホーム」タブ「スタイル」グループの「見出し1」をクリックするだけ。

※Ctrl キーを押しながら、見出し行を複数選択して、一気に「見出し1」設定にすることもできます。

②本文に、段組み設定をします。本文（「マイルって、なに？」以下）全体を選択して、「ページレイアウト」タブ→「段組み▼」→「2段」。



メリハリがなく、なんか、のっぺりした感じですね。見出しや段落のスタイルを、考えてみましょう。また、フォントも、「MS 明朝」や「MS ゴシック」以外にしてみます。

③「ホーム」タブ→「スタイル」グループの、「見出し1」を右クリック→「変更」で、見出しのスタイルをお好みに変更します。また、「標準」を右クリック→「変更」で、文章部分のスタイルもお好みに変更します。

作品例では、つぎのように設定しました。

・見出し1

(1) 太丸ゴシック 12pt、白色。

(2) 「書式▼」→「罫線と網掛け」→「網掛け」タブで、背景色を青色に。

(3) 「書式▼」→「箇条書きと段落番号」→「箇条書き」タブで、行頭文字を➤（飛行機マーク）に。

・標準

(1) 教科書体 11pt。

(2) 「書式▼」→「段落」で、段落後の間隔を6ptに。

本文のスタイル設定を整えるだけで、だいぶスッキリとしたイメージになります。



4. 画像の挿入

①準備した画像を、挿入します。大きさは小さめにして、「書式」タブ→「文字列の折り返し」→「行内」にして、各項目の文末に挿入しておきます。

②つぎの方法をいろいろ試して、ページの切れ目がきれいになるよう工夫します。

(1) 写真の大きさを調整。(飛行機や空港の写真3枚は、同じ幅にしたほうがいい。)

(2) 画像の後ろに、改行を1行挿入。

(3) タイトル用のスペースとして入れてある改行を、増やしたり減らしたりする。



※3ページめに、最後の改行が残ってしまうことがあります。この改行は、段組みの属性設定がされているため、削除できません。印刷するときは、3ページめは印刷しないようにしましょう。

5. タイトル

A. 写真

用意した画像を挿入、トリミングや拡大縮小で、タイトル部分全体にイメージが広がるよう配置します。

B. タイトル文字

ワードアートを挿入。フォントの色は白色で、影付きに。

「陸」部分を選択→「ホーム」タブ→「ルビ」で、ルビをふります。



C. リード

テキストボックスを挿入して、リードを入力します（入力が大変だったら、「原稿.txt」をコピー&ペーストしてください）。

テキストボックスの枠線・塗りつぶしとも、なしにします。

フォントの色は白色で、影付きに。

おカ 陸マイラーになろう



マイレージサービスが日本で始まったのは、1997年。現在では、安定して使いやすいサービスになっています。今でも「飛行機に乗らないと、マイルが貯まらない」って思われることも。そんなことはありません。飛行機にあまり縁のない人も、「陸マイラー」のメリットをチェックしてみましょう。

→ マイルって、なに？

航空会社のポイントカードで、もともとは「飛行機に乗った距離」でポイントが得られるしくみでした。今では、マイルの貯め方や使い方は、かなり幅広くなっています。「飛行機をほとんど使わないのに、マイレージサービスを積極的に活用する人たち＝陸マイラー」も、たくさんいます。



→ ホントにおトク？

クレジットカードを利用すると、マイルを貯められます。貯めたマイルは、Suica や Edy など、電子マネーとして使うこともできます。しかしそれだと、ふつうのクレジットカード・サービスと、大差ありません。航空券として使うのが、いちばんおトク。

・自分や家族が無料で飛行機に乗れたら、うれしい。

・パソコンかスマホが使える。

この2つが Yes なら、マイル活用を積極的に考えてみる
といいですよ。

→ どうやって始めるの？

世界には、3つの航空会社派閥があります。JAL が加盟している「ワンワールド」派閥か、ANA が加盟している「スターアライアンス」派閥か。ネットで調べて、どちらの派閥の航空会社をおもに利用したいか、決めてください。

ワンワールド派だったら「JAL マイレージバンク」、スターアライアンス派だったら「ANA マイレージクラブ」の会員になります。

以下、「ANA マイレージクラブ」を例に説明しますね。



➔ どのカードを選ぶの？

「ANA マイレージクラブ」ホームページの、「新規入会」ボタンをクリック。希望のカードを選びます。いろんなカードがあって、どれにしたらいいのか迷いますね。個人的には、「ANA VISA 一般カード」か「ANA VISA ワイドゴールドカード」がオススメ。

一般カードは年会費が 2,000 円程度かかりますが、ボーナスマイルがもらえるので、気にすることはありません。一方のゴールドカードは、年会費が 15,000 円程度ですが、いろいろと有利。どちらを選ぶかの境界は、「クレジット年間利用 100 万円」がめやす。年 100 万円以上使う人は、ゴールドのほうがオススメです。



➔ どうやって貯めるの？

「年に 100 万も使わないよ！」って思いましたか。いやいや、そんなことはないですよ。

クレジット利用にも、いくつかポイントがあります。まずは「カードをなるべく一本化すること」。「そのお店の特別な割引がある」という場合を除いて、使用するカードは ANA カードにしまいましょう。コンビニや飲食店でも、付属している iD を使えば、サイン不要。現金で支払うより、簡単です。

つぎに、これまで現金や銀行口座引落にしていたものを、なるべくクレジット払いにしましょう。これは、大きい。毎月かかるうえ、金額もまとまります。電気・ガス・電話や携帯・水道はもちろん、最近は家賃もクレジット払い OK だったり。「クレジット払い」といっても、いちいちカードを見せる必要はありません。毎月、クレジット会社が請求をまとめて口座引落するだけなので、ふつうの口座引落とかわりません。

3つめのポイントは、「家族カード」。カードを利用するご家族がいたら、家族カードを発行してもらいましょう。利用金額が合算されます。

どうですか、生活費が増えることなく、自然とゴールドを考えるようになりませんか。



➔ どうやって使うの？

ホームページの、「国内線特典航空券」または「国際線特典航空券」から、予約します。自分だけでなく、二親等内の親族でも、事前登録すれば OK。

国内線は2ヶ月前から、国際線は 355 日前から予約開始。希望の路線を取るには、なるべく早く予約するのがポイントです。



➔ めんどくじゃないの？

これはもう、「慣れ」の問題です。電気代など、クレジット払いへの変更手続きは、たしかにめんどく。でも、一度やってしまえば、後は何も必要なし。日ごろのクレジットや iD での支払いは、どうということありません。航空券予約も、最初は戸惑いますが、2回目からは慣れます。

それでも、「どうも性に合わない」という人も。サービスは「生活を豊かにするため」のもの。無理して使う必要はありません。